

# 修学旅行「関西方面」へ



速報版  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2020

343号

57回生修学旅行先が  
蔵王スキーから  
関西方面に  
変更となりました

## 毎年恒例の蔵王スキーから変更



旅行予定の大阪の観光地(右上:大阪城、右下:かに料理屋、左上:たこ焼き作り体験、左下:宿泊するホテル)。大阪以外にも兵庫、京都、奈良を訪れることが出来る予定だ。(写真:森本先生提供)

### 行き先と日程が変更

10月14日(水)のロングホームルーム、第1体育館にて2年生に向け、修学旅行の行き先変更が発表された。例年、錦城の伝統である蔵王へのスキー旅行が恒例であったが、史上初の関西方面に。大阪、兵庫、京都、奈良などを巡って観光、学習を行う。今後、現地の観光名所を調べる事前学習の場も設けられるそう。また、宿泊先は大阪のホテルモントレ・グラスミア大阪、ホテルモントレ大阪に決定している。日程も例年の4泊5日から変更され、来年の2月2日(火)から5日(金)の3泊4日で実施予定だという。

現在の新型コロナウイルスの感染状況を考慮して決定したこの変更。詳細については今後も話し合いが進められていく。

### 「知恵を絞り楽しい時間を」

松林校長先生は、2年生の修学旅行を例年の蔵王から関西方面にした理由として、1番はコロナ感染対策だと話す。「今年はどうするのがベストなのか、今まで通りに蔵王での開催も中止することも考えていました」と語った。また、文部科学省や東京都からの「修学旅行はできなくても何かそれに変わるもの」と

いう発表も視野に入れ、最終的な決定は2学年の先生に任せよう。松林校長は2年生へ「蔵王



行き先変更の経緯を語る校長先生

ではないけれど、2年生1人ひとりが知恵を振り絞ってどう楽しめるか考えましよう」とメッセージを送った。

### 関西方面決定の理由とは

「不安で生きた心地がしていなかったので、修学旅行の行き先を生徒に発表した時、生徒が喜んでる姿を見られて嬉しかったです」と話すのは修学旅行チーフの森本先生。例年の蔵王修学旅行は旅行代理店を併せず行っていたが、今回は旅行代理店の「どこにも開催場所をどうするのか話し合いを行ったという。その結果、宿泊施設の感染対策と医療機関が充実していることから関西方面へと行き先を決定したそうだ。

現時点で予定されている具体的な観光内容は、阪神淡路大震災を経験した神戸にある「人と未来防災センター」への見学、関西エリア内での班

別行動だそう。

森本先生は、修学旅行で意識したい点として「安心・安全」学びを得る「楽しい思い出を作る」の3つを挙げる。「安心・安全については、普段の学校生活通り、しっかりとした感染対策に取り組みしてほしいです」と語る。最後に、今後のクラスでの話し合い、感染対策が求められる57回生に向けて「修学旅行を成功させるためにはみんなの協力が必要です」と話した。



「錦城の歴史に残り、次につながる修学旅行にしましょう」

### 修学旅行実施に喜びの声

2年生からは「行き先が観光名所のたくさんある関西方面になりとても嬉しい」という意見や「蔵王スキー修学旅行は錦城の伝統だったので、行けなかったことは残念など、様々な意見が出た。しかし、多くの人から「コロナ禍の中、修学旅行がなくならなくて本当に良かった」という喜びの声が聞かれた。今後とも修学旅行の詳細の発表に注目していこう。